

琵琶湖環境部 令和元年度主要事業の概要

環境・農水常任委員会資料
令和元年(2019年)5月24日(金)
琵琶湖環境部

～ 第五次環境総合計画の目標「環境と経済・社会活動をつなぐ 健全な循環の構築」に向けて～

現状・課題

- 琵琶湖の水質は改善傾向にある一方で、生態系に関する課題が顕在化
- 手入れ不足の森林が増え、山村に活気がなく、人が山に入らなくなったことにより獣害等も深刻化
- 「琵琶湖や自然」と「暮らし」との関わりが希薄化
- 気候変動により起こりうるリスク対応が急務
- 持続可能な社会に向け、環境に配慮した暮らしや産業活動のさらなる促進が必要



施策展開の3つの視点

～共生～

地域資源の活用を通じて「自然と人」「人と人」「地域と地域」の共生をつくる

～「守る」「活かす」「支える」～

「支える」取組のもと、「守る」取組で地域資源の価値を高め、「活かす」ことでさらなる「守る」取組を進める

～協働～

「環境自治」の理念のもとで、多様な主体の参画による協働を進める

重点プロジェクト

〔新〕〔重〕〔創〕南湖湖底環境改善事業 (3.8百万円)

南湖窪地の貧酸素状態が及ぼす影響を調査研究し、湖底環境改善事業への基礎資料整備を進める。★農政水産部と連携

「魚のゆりかご」南湖再生

山村と都市における「循環」

重点プロジェクト

「やまの健康」推進プロジェクト(48.2百万円)
うち琵琶湖環境部 〔新〕〔重〕「やまの健康」推進事業 (9.1百万円)
森林・林業・山村を一体的に捉え、農山村が活性化している姿を実現する。

部局横断

湖と里における「循環」

重点プロジェクト

〔新〕下水道バイオマス利活用検討事業(8百万円)

汚泥処理のコスト低減・効率化と未利用バイオマスの有効活用を図るために、下水汚泥とそれ以外のバイオマスの混合処理について調査・検討を行う。

重点プロジェクト以外の主要事業

琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用

- 〔新〕〔重〕琵琶湖活用推進支援事業(1百万円)
- 〔拡〕〔重〕「びわ湖の日」活動推進事業(9.5百万円)
- 〔拡〕〔重〕〔S〕エコツーリズム推進支援事業(5.6百万円)
- 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業(263.6百万円)
- 〔重〕獣害対策担い手育成事業(5.2百万円)
- 〔重〕しがジビエ活用拡大事業(3.4百万円)
- 〔新〕森林・林業人材育成事業(19.5百万円)
- 〔新〕森林境界明確化支援事業(14.6百万円)
- 〔新〕下層植生回復モデル事業(18.6百万円)
- 〔新〕〔拡〕全国植樹祭開催準備事業(41.8百万円)
- 〔重〕〔創〕「山を活かす、守る、暮らす」都市交流モデル事業(15百万円)

気候変動への対応と環境負荷の低減

- 〔新〕〔重〕気候変動適応推進事業(11.8百万円)
- 〔新〕〔重〕下水道不明水発生源対策支援事業(7百万円)
- 〔新〕〔重〕ごみゼロしが推進事業(4.9百万円)
- 〔新〕〔重〕琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業(1.8百万円)

〔新〕⇒ 新規事業 〔拡〕⇒ 拡充事業

〔重〕⇒ 重点化特別枠事業

【重点化特別枠の種別】

〔創〕⇒ 地方創生推進交付金活用事業

〔S〕⇒ 自治体SDGsモデル事業

持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

- 〔拡〕〔重〕〔創〕水質評価指標としてのTOC等導入に向けた調査研究(50百万円)
- 〔拡〕〔重〕汚水処理分野における海外技術協力プロジェクト(3.5百万円)
- 〔拡〕〔重〕湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信(3.6百万円)
- 〔拡〕琵琶湖博物館展示交流空間再構築事業(第3期工事)(225.3百万円)
- 〔重〕〔創〕琵琶湖博物館魅力創造発信事業(27.8百万円)
- 〔重〕〔創〕国立環境研究所連携推進事業(112百万円)
- 〔重〕〔創〕水草等対策技術開発支援事業(10.8百万円)